

# 紫朋

## SHIHOU

Vol.44 平成11年4月

発行  
横浜市立金沢高等学校  
同窓会「紫朋会」

### 会長挨拶



第十四期卒  
(昭和四十一年卒)  
佐藤 邦彦

紫朋会々員各位におかれましては、益々ご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は、当会に対し、ご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は世相の上では相も変わらず、「不景気」風が吹き荒れ、経営環境の厳しさに追い打ちをかけておりますが、教育界でも余り有効な手立てもありません。『学級崩壊』などという言葉が生まれる状況です。

一方、少子高齢化は益々進み、二〇二五年には一人の若者に掛かる負担が現在の約二倍となる人口構造の中で、横浜市立高校の改革が着々と進んでいます。我が金沢高校もまもなく創立五〇年の時を刻む地元を根ざす学校となりました。

受験・部活に活躍、公立高校として各界でも名前が多く聞かれますが、この校風は創立以来の諸先輩方の努力の賜と存じます。

我が紫朋会も一昨年は「会則」をリニューアルし、会員各位の親睦を深め、OBと現役諸君との交流促進を図ってまいりましたが、今年には更に各位のアイデア、ご意見を頂き積極的に取り入れて行きたいと思っております。

今年はず、創立五〇周年行事「二〇〇

一年」に焦点を当て、組織・体制の整備を図ってまいりたいと思っておりますが、昨年の常任幹事会で「学校」及び他団体（PTA、後援会etc）との連携を取りつつ、記念行事や記念誌、名簿の作成等について会員各位のご提案を頂く事になりました。準備、運営には多数の方々のご協力が必要となりますので、是非自薦・他薦問わず、お申し出頂ければ幸いです。

現在、各方面で活躍されています先輩諸兄・諸姉のご健康を祈念し、我が「金沢高校」の現役諸君の活躍に期待し、今後も会の発展に全力を挙げて尽くしてまいりますので、尚一層のご理解・ご協力を切にお願い申し上げます。



### 学校長挨拶



学校長  
高見澤 隆

校長室から身を横に向けると梅の老木が幹の分れ目で三つに裂け、中はうるむようになってるのが眼に入ります。

一枝は枯れ果て、とても養分が行き渡るとは思えないが、ほんのりと薄桃色を滲ませた花弁を他の二枝と遜色がない程に咲かせて微風に小枝を揺らしながら舞い散らしています。

陽当りの良いこの一隅には目白、鶉、雉鳩、棕鳥、白鷺鴎などの野鳥が飛来し花弁や芝草の中の餌を啄んでいくなど穏やかな自然の情景に暫し校務を忘れ心が和む時であります。さて、教育の世界に眼を転ずると平成十年十二月に市立高校再編整備計画案が発表されました。

案では、本校は平成十七年度には学区の枠が外れ一学年六学級規模の二学期制単位制高校となっております。

定時制高校の統廃合変更を含め各方面で論議されているのでどう結果するか興味深いところでもあります。

私事で恐縮ですが三月をもって退職となります。

金沢高校での二年間を振り返ってみると、意欲的な先生方の理解と協力により勤務時間や休み時間の変更、学校説明会の実施など、学区の中学校や地域の方々への期待に答えられる高校を目標にいくつかの改革を実現することができましたが、施設面では市財政の逼迫の中で納得のいく成果があげられなかったことに悔いが残っております。

創立五〇周年を三年後に控え準備委員会を発足させ活動を始めています。

朋会の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に紫朋会の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

### 平成十一年度

### 紫朋会総会のお知らせ

日時 平成十一年五月三〇日(日)  
会場 横浜市立金沢高等学校  
第一部 午後一時から  
講演会 視聴覚室  
演題 「イルカと泳いで撮影する」ということ

第二部 午後二時から  
総会 視聴覚室  
議題 平成十年度 事業報告  
平成十年度 決算報告  
平成十一年度 事業計画  
平成十一年度 予算案  
役員改選  
その他

第三部 午後三時から  
懇親会 食堂  
会費 二、〇〇〇円  
(平成十一年三月卒業生は無料)

### 《講師 田口周一氏について》

金沢高校二十四期生  
東京生まれ横浜育ち。中学校の頃より釣りやスノーケリングで地元東京湾や葉山の海に親しむ。

大学卒業後、製薬会社に五年間勤務。八十七年ダイビングスクールTAG横浜、九十五年ドルフィンクラブ三宅島設立。水中映像に力を入れ、野生のイルカや魚類の貴重な映像をTVや教育ビデオなどに提供している。  
(六ページをご参照下さい)

# 平成十年度 事業活動報告

## 常任幹事会報告

紫朋会の総会で決定・承認された各種行事の運営計画を検討・実施する機関が、常任幹事会です。メンバーは各期各クラスの卒業生の代表。常任幹事で構成されています。この常任幹事会は従来は毎年五回開かれていましたが、多忙あるいは遠路からの委員が多いこともあって、今期から審議を充実させて開催回数を減らすことにしました。

平成十年度の開催状況は次の通りです。

### 【第一回】

四月十二日(日) 於・金高会議室  
議題 「九年二年度幹事会議事業報告」  
「九年度会計監査報告・承認」  
「会報・紫朋」進行状況報告」  
「十年度総会、事業計画について」  
「新入幹事紹介」

### 【臨時常任幹事会】

五月十七日(日) 於・金高会議室  
議題 「平成十年度 総会準備」  
なお、幹事会終了後、新入幹事の歓迎会を実施

### 【第二回】

九月六日(日) 於・金高会議室  
議題 「会報・紫朋」四十四号について  
「金高祭・紫朋会ルーム」の運営について」  
「寄付状況について」  
「寄付状況について」  
作業 寄付礼状の宛名書き

### 【第三回】

一月三十一日(日) 於・金高会議室  
議題 「会報・紫朋」四十四号について  
「金高創立五〇周年事業について」

「平成十一年度 事業計画案について」  
「鎌倉彫基礎講習会について」

前述の通り、常任幹事会は紫朋会の運営には不可欠な重要な活動です。今年度の幹事会の開催予定は別掲の通りです。いよいよ金高の創立五〇周年事業の準備も本格化します。で、クラス代表が否かにかかわらず、会員の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

## 平成十年度総会の報告

平成十年度紫朋会総会は、五月三十一日(日)午後一時より金沢高校視聴覚室で開催されました。

第一部は、講演会として、十六期卒業生で、現在、沖縄県立芸術大学・慶応大学で教鞭をとられている平野 昭さんに「気軽に楽しめるクラシック音楽」と題した、とても楽しい講義をしていただきました。

第二部は、平成九年度事業報告、平成九年度決算報告、平成十年度事業計画案、平成十年度予算案、役員改選など定例の議案が審議・承認されました。

第三部は、会場を食堂に移し、懇親会がおこなわれました。

## 平成十年度 パソコン教室報告

平成十年度の紫朋会パソコン教室は七月十九日、十一月十五日の二回行なわれました。

(九月二〇日は中止)  
参加者は二回で十五名でした。時期的な問題もあるかもしれませんが、後半の参加者が少ないのが大変残念でした。逆に少なかった分、きめ細かな講習ができたと思っております。パソコンの利用は社会全般に広がっており、社会のリテラシーとして必要なものです。また、新教育指導要綱でも小学校から情報の学習が行なわれるようになっております。し

かしながら設備が乏しいため一般ではなかなか学習する場所がありません。そんな中、学校の施設をご厚意で利用させていただいておりますので、ぜひとも多くの参加をお願いいたします。

## ハイキングの会

通算七回目のハイキングは六月十三日(土)に奥多摩の御岳山(九二九m)から日の出山へのコースで行われました。

朝七時過ぎに川崎駅に集まったときは曇り空、ケーブルで御岳山頂駅に着いたときは濃霧、歩き始めると雨になり、雨具をつけてのハイキングになってしまいました。はじめての土曜日の設定のためか、会長夫妻の参加もありましたが参加者十一名と、いつもより少ないのが残念でした。しかし全員足も口も元気に歩きとおし、「つるつる温泉」に浸かって、身も心もリフレッシュした一日でした。

八回目は天気の都合で予定日を一日ずらし十月二十五日(日)に、相模湖に近い石老山(六九四m)に登りました。延期した甲斐があつて、すばらしい好天に恵まれ、十七名の参加者一同、秋の山々の絶景を楽しむことができました。

一日おしゃべりしながら歩いても口は疲れないのか、帰途相模湖駅前の喫茶店でお茶と談話を楽しんで解散しました。席上粟飯原氏から忘年会の提案があり実施することにしました。

過去にハイキングの会に参加したことのある三十六名に連絡をし、十二月四日杉田の「ぼん



吉」で、十九名の参加者を得て盛大な忘年会を開きました。今後のハイキングの会の活動や山談義酒談議であつという間に時間が過ぎてしまいました。もっと平らな所のハイキングをとの声もあり、思いついた人が適当に連絡をとりあつて臨機応変の自主的活動も行うことになりました。

十二月十五日(吉谷氏(五期)が鎌倉の六場を案内する会、一月三〇日には足立さん(五期)を中心に北鎌倉から瑞泉寺まで歩き、梅や水仙を楽しむ会を開きました。活動的な人が多いので、自分の好みのハイキング・パターンで企画・実施することが増えるのではないかと期待しています。興味のある方は幹事まで御連絡下さい。

## 社会見学ツアー

十四期(昭和四十一年卒)佐藤邦彦 学校が夏休みに入った八月一日、日頃企業の見学の機会が少ない紫朋会々員十名が京浜急行生麦駅より徒歩十分の「キリンビール横浜工場」を見学しました。一行は十五時にエントランスホールへ集合、素敵なコンパニオンの挨拶・注意に耳を傾け、心はずでにビールの泡を想像していました。はじめはビールの歴史コーナーで世界の「ジョッキ」に驚かされたのですが、実際の生産工程ラインではベルトコンベアーのスピードに度肝を抜き、途中各種のビール当てクイズでは舌なめずりし、実際に封入ラインでは「自動化」の進んだ近代工場を認識しました。

出口では一人一人に生ビールの試飲コーナーがあり、約一時間半の見学は無事終了。構内のレストランで「反省会」のかたわら、社外不出のめずらしいビールも味わい、楽しく現地解散となりました。

PS その後、寄り道のグループはみなとみらい花火大会にかけた様です。おまけの方も大変楽しかったそうです。

### 舟釣りの会

紫朋会「釣り大会」報告

昨年の九月十三日(日)、紫朋会初の試みとして、「釣り大会」を金沢八景・平潟湾の弁天屋さんで開催しました。当初は、初心者も含めて多数の参加を見込んで仕立て船で、という計画でしたが、都合が変わって不参加となる会員も出たため、急遽予定を変更し、乗合船で出船しました。

参加人数は男女合計五名でしたが、幸い好天にも恵まれ、少数ながら和気藹々と東京湾の秋のシロギス釣りを楽しみました。釣果の方も狙いのシロギスのほかにメゴチ、アナゴ、カレイなどと、なかなかの成績をおさめることができ、「ぜひまたやって」という嬉しい注文も出ました。

今年度も開催する予定ですので、昨年参加できなかった会員の皆さんも、ぜひご参加下さい。



### 金高祭

ジャズの音がどこからともなく聞こえてくる紫朋会の部屋。

スペシャルイベントとして、今年十八期卒業のトランペット奏者佐藤 哲さんに演奏をお願いしました。

間もなく五〇周年を迎え、金高のOB、OGの活躍の場も多岐にわたっています。

展示としては、今年度総会の講演をお願いした平野 昭さんと来年度総会の講師を予定している田口 周一さんの仕事内容をパネルで紹介しました。

恒例の卒業アルバム閲覧には、知人・自分の親・先生の若かりし頃の姿を見に多くの人が集まりました。ラファエル会のクッキーとお茶・ジュースの無料サービスも行いました。食欲旺盛な高校生たちは、ペロッとたい

### クリスマス・リース教室

Y・S(卒業生母)

近所の方を誘って、初めてクリスマス・リースの講習会に参加しました。最近では日本でも、玄関の扉に飾ったり、街中でもよく見かけるようになりましたが、ドーナツ型のものが一般的です。今回、講師の方が用意して下さったのは、初めて目にする大きなストロバスコーンが二つと金のロープ、幅の広い紺色のリボンなどでした。

自分の不器用さを嘆きながらも、講師の方のご指導で、とてもしゃれた部屋飾りがどうにかでき上がり、壊さないようにそつと家へ持ち帰りました。ありふれたものではない、オリジナルのデザインがとてもすてきです。材料をそろえるのも、種類が多くて迷ってしまいましたが、このように教えていただくと、今後の参考になります。お正月飾りのサンブルの写真も見せていただき、次はそういうの

## 学校便り

### 金沢高校を取り巻く環境

生徒数の減少が取り沙汰される中、つい本校にもその波が押し寄せてきました。今年度の新入生は八クラス(三二七人の生徒)でスタートします。今後は更に減ることが予想され、平成十七年には一学年六クラスという話も出ています。

平成十年十二月には、市立高校全日制普通科五校の単位制高校への移行や、定時制の再編整備などが盛り込まれた「横浜市立高等学校再編整備計画」(案)が出されました。現在、学校現場への説明や市民に対し広く意見を求めているところです。

### 先生方の異動

平成十三年に創立五〇周年を迎えるにあたり、平成十年五月に学校側の組織として五〇周年準備委員会を発足させ、企画・運営の検討を始めました。今後は紫朋会の皆さんとも相談しながら企画を煮詰めていく予定です。

昨年は、副校長の栗飯原 賢先生と数学科の薄 秀充先生のお二人が退職されました。その他七名の教職員の方々が次の通り転任されました。

新しく副校長として手老 貞行先生が着任されたのをはじめ、十一名の教職員の方々をお迎えしましたのでご紹介致します。手老先生は、横浜工業高校の英語科の教員として二十四年間勤務され、定時制教育に尽力されてきました。

その他着任された先生方は次の通りです。

氏名 (教科)	前任校
片桐 了 (国語)	横浜商業高校
天野 誠一 (数学)	南高校
尾崎 宏和 (数学)	鶴見工業高校定時制
綿引 秀昭 (数学)	桜丘高校
菅 礼子 (物理)	東高校
増田 亨 (化学)	戸塚高校
後藤 静香 (保体)	新任
西堀 雅明 (英語)	桜丘高校
竹花 孝 (事務)	都築保健所
丸山 徹 (事務)	横浜市

### スポーツ振興事業団

また今年、この三月で校長の高見澤 隆先生、数学科の相川 勲先生、管理人の毛木 (浅野)さんの三名の方々が退職されました。高見澤先生は、平成九年四月に本校の校長として着任され、中学校に対し学校説明会を実施するなど二年間金沢高校の発展のためにご尽力頂きました。

相川先生は昭和四〇年に本校に着任以来、紫朋会の顧問として学校とのパイプ役となり、影となり日向となって支えて頂きました。毛木さんは、昭和五十八年八月から本校の管理人として十六年間、夜間あるいは休日の学校を守って頂きました。特に部活動の生徒たちには「おっちゃん」の通称で親しまれており、お世話になった卒業生も多いことと思えます。

### 退職にあたって

相川 勲

昨年横浜ベイスターズが三十八年ぶりに優勝しました。大洋ホエールズが優勝したのが私の大学四年のときでしたので、私の教員生活も三十八年となります。よく続いたものともあり、先生というべきか、良き仲間、良き生徒に恵まれたお陰と感謝する次第です。昭和四〇年金沢高校に赴任したとき、四年間いた西柴中で新米教師として受け持ったクラスの生徒や数学を教えた生徒がたくさん居て親しくしてくれ、心強く思ったものでした。野田先生とのじゃんけんんで負けて、不本意ながら山岳部の顧問になったことも私にとっては幸せでした。山岳部の生徒とは丹沢や南アルプスを中心に、山好きの先生方とは北アルプスや東北の山等を堪能させてもらいました。山行では苦しみや楽しみを共有することから普段の学校生活では得られない人間関係が得られ、やめられた先生やOB部員の山仲

間とは今でもおつきあいいただいています。紫朋会とおつきあひも長くなります。赴任してすぐ同窓会の顧問になったのですが、紫朋会の活動の低調期と重なり大した協力は出来ませんでした。金高創立三〇周年を迎えるにあたり、皆さんの結集と協力をお願いし、成功させる事が出来ました。さらに、歴代会長はじめ役員の方々の献身的な努力と活動のおかげで三〇周年に続き四〇周年の記念事業を成功させることができました。この間いろいろの職業や立場の人とおつきあいでできたことも私の大きな財産となっています。

金高創立五〇周年を二年後に控え、ひとりでも多くの人が紫朋会の活動に参加してくれることを願っています。

長い間お世話になりました金沢高校と紫朋

**古賀先生**

おめでとうございませう

平成十年秋の飯前で、本校七代目校長の古賀先生が、本年の教育界に対する功績が認められ、無任で賞状を贈呈されました。

先生は金高卒業生の御出身で、昭和二十五年市立福高の校長になられ、昭和六十一年金沢高校の校長を定年で退任されるまで、福高市立高校の発展のために御尽力されました。また、その間の某校の役員、退職後金高の副校長等々幅広い分野で活動されていきます。

金沢高校には昭和五十三年副校長として赴任され、昭和五十四年から六十二年三月まで校長として御勤労されました。創立三〇周年のときはいろいろとお慶びになつたことを御記憶の御座る方も多いと聞きます。

十二月二十三日福高ゼミのダイナスタイルームで盛大な祝賀会が開かれ、御慶金を代筆して、在職会長が出席されました。

**現役生の活躍**

会が益々発展されますよう祈念いたします。

**運動部**

- 弓道部
- 県春季大会兼関東大会県予選会
- 女子団体 四位 (関東大会出場)
- 県高校総体兼全国高校総体県予選会
- 男子個人 三位 (三年 佐々木 仁)
- 女子団体 四位
- 県新人大会
- 女子個人 三位
- 女子団体 三位 (二年 杉本 七緒)
- 男子バレーボール部
- 横浜市民大会 三位
- 県新人大会 五位
- 男子バドミントン部
- 県新人戦ベスト16
- 野球部
- 夏の全国高校野球県予選会
- 東部地区ベスト16
- 女子バドミントン部
- かながわゆめ国体に出場
- 県大会 優勝
- 関東大会 銅賞
- 文化部
- 鉄道研究同好会
- 「青春十八きつぷ」最長旅行」にチャレンジ
- 一、三〇〇 を達成し、神奈川新聞社及びTV神奈川の取材を受ける。なお、代表生徒に感想を書いてもらったのでお読み下さい。
- ブラスバンド部
- 県大会小編成の部 金賞
- 部活動以外の生徒の活躍
- ヨット競技 三年 大野 英里
- かながわゆめ国体出場
- 全日本選手権出場

大極拳 三年 宮岡 武蔵  
アジアジュニア大会 優勝  
トビックス

四十三期の卒業生である菅原由美子さんが、昨年行われた「かながわゆめ国体」陸上競技成年女子二〇〇mにおいて準優勝。また全日本選手権女子二〇〇mにおいて準優勝と活躍しました。

(本年四月より南高校の教諭になりました)

**青春十八きつぷの夏**

みなさんは「青春十八きつぷ」という切符をご存じだろうか。これはJRの発行する、一日限り普通列車乗り放題という切符なのである。九十八年夏、僕ら鉄道研究同好会(以下鉄研)のメンバーは、この切符一枚で横浜から熊本県八代までを二十三時間かけて、旅をした。その時の事を、レポートしてみようと思つた。

元々、この切符はお金の無い鉄研には、必需品だった。企画も「青春十八きつぷ」を使った旅の中で、思いついたのである。しかし、当初行ってみただけだった企画も、あちらへ行きたい、こちらへ行きたいと言っている内に五泊六日の大旅行に発展してしまつた。旅のしおりも、六〇ページのぶ厚い本となつていた。

八月十八日、深夜の横浜駅に集まつたのは顧問含む総勢十三名。東口のみどりの窓口前で、僕らはTVの取材を受ける事になった。大きな垂れ幕を持って、行つてきまーす!と叫ぶ。気がつくと、出発時刻が迫つて来た。十八日午前〇時十二分、ホームに夜行列車が滑り込んで来た。旅の始まりである。車内はほぼ満席で最初話し込んでいた部員も、すぐに眠り始めた。真っ暗な空の中を走り、約六時間後、大垣駅に着いた時、周りは明るくなつて来た。その後関ヶ原を通り、京都に着く頃、旅唯一の雨がサツと降り出した。大阪に近づくにつれて、会社へと向かうサラリーマンが乗り込んで、車内はラッシュと化した。

大阪を過ぎ、山陽本線へ入ると、延々と直線レールが続く。目の前に座つたおばさんと話していたり、宮島をほんの少し目撃している内、列車は九州に入った。辺りは二度目の暗闇になつて来た。一緒に乗つてきていた人も八代に着くころには、すっかり少なくなつて来た。車掌さんにもらつていたサイン帳も残り半分となつて来た。

帰りは、一日移動し一日観光をする行程だった。阿蘇の山々に触れ、瀬戸大橋を見上げ列車から瀬戸内海を見下ろしたり、書き切れないほどの体験をして、ふと気が付くと、僕は横浜に向かう列車に乗り込んでいた。

**図書館より**

振り返つてみれば、あつという間だったが今でも色々な思い出がハッキリと浮かんでくる。それだけ充実していたのだと思う。

最後に、参加した部員そして顧問の野田先生、柳田先生に感謝したい。この旅は一人ではなく、鉄研みんなで作つたと思うのだから。

昨年も図書購入のための御援助をいただきありがとうございました。

- ・琉球
- ・沖縄写真絵画集成(全五巻)
- ・人物二〇世紀
- ・世界人物逸話大事典



# 同期会クラス会便り

## 二期同期会

去る十月十七日(土)、二期会の同窓会が横浜中華街、陽華楼にて午後六時より開催されました。



昨年の十月以来ですが、五十四名と多数の参加者で、三時間が、あっという間に終了、二次会にも、幹事の一人である光田君の店「ひかり」に流れ、深夜近くまで、飲んで、歌って、次回に会う事を楽しみに散会しました。

今回の幹事は、  
蒲谷、岡田、福沢(中田)、  
馬場(谷戸)の四氏にお  
願いしました。



## 四期同期会

同窓会開催のご報告

昭和三十一年度卒業 金沢高校第四期生「ユカリ会」を四年半ぶりに開催致しました。

ときは晩秋十一月二十三日、ところは横浜駅西口ホテルリッチ横浜、中村久、清田正男、戸田 みつ江、三人の恩師のご臨席を戴き、総勢七〇名が一堂に会して和気藹々の内

に「KANREKI+1 楽しく語ろう会」のタイトル通り、恩師の歳に似合わぬ(?)のタイトル通り、大いに語り、笑い、歌い踊る四時間の盛会となりました。



又、今回から初めて在学中何等かの事情により卒業迄を共に出来なかった仲間にも声を掛け、三人が参加するなど少しずつでも輪の拡がりがあった事に大きな喜びを感じています。

## 五期同期会

還暦記念第五期生同窓会開催

藤田重信

校や躑躅の返り花も見られた暖かい十一月七日、横浜ベイシエラトンホテルで五期生の還暦記念同窓会が開催され、約八〇名の同期が遠くは九州から集い、青春の花の返り花(狂い咲き)を咲かせた。又、黒宮、桂川、清田、戸田、中村、望月、東山、武島先生にご列席頂き話題に花を添えていただきました。小林君の司会で先ず物故者への黙祷が捧

げられた。皆気のいい奴らだったなあ、ふと五木寛之の「大河の一滴」の中の「善き者は逝く」という言葉を思い出した。



荒木君が挨拶の中でサムエル・ウルマンの「青春」を引用し第二の青春を楽しもうと呼びかける。同感！ウルマンは八〇歳でこの詩を書き、その背景にはタイタニック号の悲劇があったという。

「樂觀の電波を受信しつづくるかぎりには、なんじ齡八〇にしてなお青年のまま死ぬるも望みあり」と結んでいる。ご不自由な身体を押して奥様とご一緒に車椅子で参加された武島先生のご挨拶の中で「身体障害者の団体の役員として、社会奉仕をしている」との言葉に感動しました。乾杯の後、懇談に入ったがこの後はよく覚えていない。

「老人力」という本がベストセラーだが、物忘れはボケではなく、老人力がついたと喜ぶべきだそう。物忘れ イズ、ヒュウテイフル。酒が入れば老人力は嬉しいことに加速する。とにかく、時間はあっという間にすぎ、二次会のカラオケとなる。相手替わって主替わらずでデュエットとダンスをしまくる女傑(失礼)が目に残る。普段飲み屋での自分の姿がダブル、ますい。

そして三次会、酩酊!後で送られてきた写真を見て、彼とも、彼女とも、もつと話したかったと思ったのは私だけだろうか?後の祭り、次の機会が待ちどろしい。「人は成熟するにつれて若くなる」という本の中のヘルマン・ヘッセの「老いる」という詩の一節を結びとします。幹事の皆さん

本当に、本当に有り難うございました。老いた人々にとってすばらしいものは暖炉とブルゴーニュの赤ワインとそして最後に穏やかな死だ。しかし、もつとあとで 今日ではなく!

## 十六期六組クラス会

平成十年五月三十一日の紫朋会総会、平野昭君の「気軽に楽しめるクラシック音楽」の講演会に突然の誘いにも拘らず、十六期六組の仲間が十三人駆けつけ、ほぼ三〇年振りの再会、ミニクラス会となった。旧友の顔を確かめ合いながら大いに盛り上がり、秋には本格的にクラス会をと約束して解散。

いよいよクラス会当日の十一月七日夕刻、金沢八景駅裏のカフェ・クレオール(松下君の弟さん経営)で顔を合わせた面々(男子八名、女子十二名)、初めは彼方・方は誰でしょう!という表情、があつと言う間に全員学生服姿の友を思い出して大賑わい、自己紹介に始まり、近況報告、お互いに忘れていたようなエピソードなども飛び出し、時の経つのも忘れて楽しくお喋り、そしてバンドを組んでいた仲間達の首頭で懐かしいフォークソングの大合唱、心はずっかり金高生、十代にもどって皆かなりの興奮状態で全員二次会へ。

三〇年の時を越え、即学生時代に帰ることができるとの仲間、今年には五〇才を迎える。楽しい飲み友達になろうと誓い合い、またの再会を約束してお開きとなった。今回お会いできなかった皆さん、次回をお楽しみ



に。  
(十六期六組幹事 松下、峰尾)

# 会員便り

## 『イルカと泳ぎ 撮影するという事』



田口 周一  
(二十四期)

一九八六年五年間勤務した企業を退職し、一九八七年横浜市栄区にダイビングスクール&ショップ「TAG」を設立。物心ついた頃より「生き物」への想いは人一倍強く、海という大自然の中で生物に触れ合いながらの生活は第一の夢でありました。実情は常に経営困難を抱え、まさに「貧乏暇なし」といったところでしたが、夢を実現しながら好きな事を職業にして生きている喜びは何事にも代え難い感がある。一九九一年頃より周りの強い要望で、イルカと泳ぐツアーを開始した。伊豆七島三宅島の南十八キロにバンドウイルカの楽園、御蔵島がある。人の侵入を妨げる高い断崖に囲まれた島の周囲には、一五〇頭以上のイルカが棲息している。崖の上には森が在り、そこから流れ出た水はウミガメやトビウオなどが棲む豊かな海に流れ込んでいく。



その地でタンクを背負わずスノーケリングでイルカと泳ぐのである。野生のイルカとの交流は、言葉では表現しきれない程感動的だ。感激のあまり泣き出

してしまう人もいる。水中でイルカと目を合わせながら泳ぐ時、誰もが「いつまでも、いつまでも、このままで」と、感じずにはいられないのではないだろうか。ツアー参加者の喜ぶ顔や、知れば知るほど素晴らしいイルカの魅力に導かれ、年一回のツアーが月一回になり、一九九六年には三宅島に事務所を置くまでになった。また、ビデオ撮影には、当初のテーマは「イルカと人」であり、どうしたらイルカと遊べるかを追求してきた。ゼロからの出発から五年後、納得のいく成果が徐々に上がり、「ハイパーワールドドルフィン」というビデオに集大成した。初心者でも解り易くイルカと泳ぐ為のハウツーをあらわした物としては、自分これを越える物は出来ないだろうと自負している。その後、三宅島在住の世界的海洋生物学者である、ジャック・T・モイヤー氏との交流により、撮影のテーマは「イルカとイルカ」の社会的行動を周りの環境を含め、撮影して行く事になっていった。様々な映像を撮り続けるうち、「水中で母イルカが赤ちゃんイルカに授乳する」『空中を逃げるトビウオを着水時に捕らえるシーン』『交尾シーン』という貴重な映像の撮影に成功し、一九九八年NHKで八回以上放映されるという反響を得られるようになった。私自身も各局の撮影



スタッフとしてロケに参加することが増えてきた。様々な映像が、教育を手がける企業（ベネッセ等）で使用され、多くの子供達の目に触れることとなった。イルカと泳ぎ観察することは、イルカの知られざる世界を解明するデータを提供するにとどまらないという事を各方面での反響の大きさにより改めて知った。今後は私にとってのライフワークとなりそうだ。

追伸  
環境破壊が深刻に叫ばれるなか、人間を含むすべての生命を育む自然がいつまでもあるべき姿が在るように、考え行動することが急務である。その為にイルカと接して感じたこと、人間の生き方との違いに考えさせられることがある。イルカは自然を破壊することなく適応して生き、人は便利快適さを求め自然をねじ伏せて生きている。イルカは彼らをつい最近まで虐待してきた人間が無害であることを知ると、好奇心一杯で近づき遊ぶが、一方人間は過去にこだわり永い間争いをやめる事が出来ない。最近のイルカブームは、人間に自然の素晴らしさを実感させるきっかけになり、地球に生きる生き物としての（人間の）有り様を考えさせるきっかけのひとつになりうるのではないだろうか。

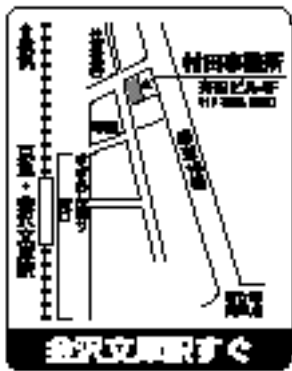


## 村田美弥子 司法書士事務所

(旧姓 田村 金高21期生)

- 不動産
- 商業登記
- 訴訟
- 供託手続等

T238-0016  
横浜市金沢区谷津町338  
齊田ビル4F-C  
TEL.045-701-8511  
FAX.045-701-8522



## てづか耳鼻咽喉科

院長 手塚 太一 (金高32期生)

【受付時間】 平日 AM8:30~12:00 PM2:30~7:00  
土曜 AM8:30~12:00 PM2:00~5:00  
【休診日】 木曜・日曜・祭日

専用駐車場あり

T238-0042 金沢区釜利谷東7-1-6

☎783-8780

FAX.045-783-8709



「運動オンチだったのに、よく続けね」と言うのは父や母です。バスケットを初めてから十九年、審判を始めてから十二年になろうとしています。趣味で続けるスポーツにしては少しハードだとは思いますが、今でもOB会の先輩や仲間と練習に、試合にと楽しんでいます。

私は、部の現役をマネージャーとして終えました。卒業後、コーチの影響もあって審判を本格的に始めましたが、体力的にも精神的にも、思っていたよりずっと厳しいものでした。ちゃんとしてきてあたりまえ、価値観や、もの考え方までもが問われる世界、あえてその厳しさの中に自分を置くことで、学ぶ事が沢山あります。そんな厳しさの中で私の支えになっているのは、審判仲間はもちろん、クラブの先輩や仲間からの励みや応援です。日本リーグを初めて審判した時や、同じく日本リーグを高校時代のコーチ(柿沼さん)と一緒に審判をする時など、こころ一番という時はいつも見守っていてくれます。

最近では、様々なレベルの試合の審判をすること、いろいろな所へ行って沢山のひとと会



『継続は力』

水原 規恵 (三十六期)



うことが少しずつ楽しく思えるようになってきました。中学生、高校生、大学生、社会人など、年齢の違いこそあれトップレベルの選手のプレイをま近に見られるという事は、バスケット好きにとってはたまらないことではないでしょうか。

日本のバスケットが世界に進出していくの頃ですが、審判員としてももっと勉強をして、トップレベルのゲームに近づければと思っています。まだまだ女性が少ない世界で珍しいと思われませんが、早く仲間が増えてほしいことではなくなる日がくるといいなと思います。そして、審判員として信頼されるよう努力していきたいと思えます。

今回この紫朋会の紙面に載せて頂き、ありがとうございました。



おおきな木のそばの そばや

# 水車

16期 高野研一

TEL 045(782)6410

住所 横浜市金沢区釜利谷東4-7-19

営業時間 午前11時~午後3時

定休日 水・木 連休

リフレッシュ整体 水[すい]

## 櫻井 康夫 (10期)

診療時間 12:00~22:00  
 麻 術 科 (電療機器併用)  
 20分.....1,000円  
 40分.....2,000円  
 60分.....3,000円

出張 日 火曜・水曜  
 出張麻術科 60分4,000円

〒235-0033 横浜市磯子区杉田2-1-4  
 京急杉田駅西口徒歩1分 (ぼん吉2F)

TEL.045-775-4530

FAX.045-775-4530

## ハワイアンダンス カノエラニフラハラウ

(15期 田川正子)

大倉山スタジオ (月) PM 4:00~5:30

(木) AM 10:00~11:30

三ツ境カルチャー (月) PM 1:00~2:15

(金) PM 6:30~7:45

TEL&FAX 045-388-7328



船見台通り4-13 セントラルビル  
 TEL.783-1511  
 (電話火・水曜閉店)

美容一般・ベルジュバンス  
 Mハビット・青毛のためのスキャルプヘアエステ  
 などのクリニックシステム

ご予約のお電話お待ちしております。

鈴木節子 (14期生)



# 卒業生のお店紹介



## 『日の出棋院』

柳下 純子さん(二十三期卒)

京浜急行日の出町駅前の歩道を渡り、不二家から上を見ながら右に歩いていくとわずかに二十秒。二十三期卒業の柳下 純子さんの『日の出棋院』があります。

創業以来、碁盤・碁石・将棋盤の専門店として地域の皆さまへの囲碁、将棋の普及に尽力され今年で五十三年。その実績により、神奈川県厚生福利振興会、横浜市職員厚生会をはじめ、諸各種の指定を受けています。

また、中学生・高校生の大会には協賛という形で積極的に参加、大会を盛り上げることで、後進の育成、社会への還元に尽力されています。

二十二年前に今の場所に移り、お父上から任されたお店を、ご主人と守りつづけています。

OB特典は、「会員割引を摘要」してください。商品によって一〇%から二十五%安くなります。二十三期生はさらにお安くならぬか。

ご商売柄お堅い方と構えておりましたが、ご本人はお話好きでとても楽しい方です。一度のぞいてみてはいかがでしょう。

営業時間 午前十一時～午後七時

定休日 祝日のみ休業

電話 (二四一)四一五

住所 中区日の出町一丁目五十四番(五・六階)

## 『中華レストラン大門』

野本 孝男さん(十八期卒)

金沢文庫駅西口から笹下・釜利谷道路沿いに十分ほど歩いたところ、金沢文庫病院の向かい側に、十八期卒業野本 孝男さんが経営される『中華レストラン大門』があります。

入口の前が駐車場になっているため、お店は少し奥まったところに位置していますが、ファミリーストラヤやファーストフードの派手な構えの店が立ち並んでいるこの周辺にあって、逆に落ち着いた雰囲気を出しているという感じがします。

創業以来、地元の皆さまに親しまれるお店作りを目指し、今年で二十五年、お客さまの八〇%は地元客で占められているそうです。お勧めは、チャーハン(六〇〇円)とギョウザ(三八〇円)。二品で一、〇〇〇円以下というのは、何とも嬉しい限りです。会計監査の某さんも「大門さんのギョウザはおいしいのよ」とおっしゃっていました。

野本さんは、現役時代は写真部の部長として活躍され、今でもお仕事の合間に撮影にいかれるそうです。店内にはもちろんご自身の作品が飾られてあります。写真好きの方は大歓迎のことでした。

お店の二階が座敷になっていて、三十五名くらいまでの宴会ができます。

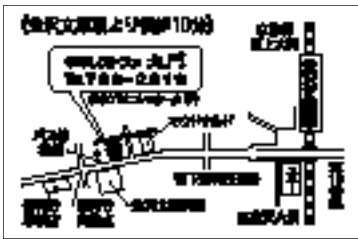
費用は、二、五〇〇円より各種。OB特典としては、クラス会等、各種宴会料五%引き(飲み物は除く)となっています。

営業時間 午前十一時～午後九時

定休日 火曜日定休

電話 (七八三)二〇一九

住所 金沢区釜利谷東二丁目七番五号



## 和風ぱぶ『貴久』

関村 幸恵さん(十期卒)

伊勢佐木町通りと福富町通りが交差するひととき賑やかな場所に、十期卒業関村 幸恵さんのお店和風ぱぶ『貴久』(きく)はあります。

和風ということ、店内は畳張りの座敷スタイルかと思いきや、普通のカウンターとテーブルの設え。壁にご本人が選ばれたという五〇号はありそうな大きな山水画風の絵が飾られていたのが印象的でした。

どこか和風なのかなと思いつながらカウンターについてみると、あれ不思議、とてもくつろいだ気分になります。初めて来たにもかかわらず、もう何年も通っているように包み込んでくれるんです。

さらに感じ入りましたのは、御任せで出される料理が通しからすべて関村さんの手作りではありませんか。お客さんが飽きないように毎日違うものを出すようにされているとのこと。

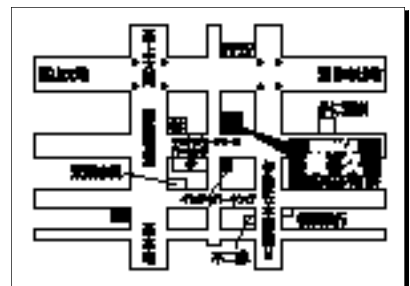
こうした気づかい、家庭でくつろげる雰囲気、なごみに、和風、なんですね。

そのうちにカラオケが始まりましたが、とても音がいいのにびっくり。ご本人も大好きで、演歌、歌謡曲は当然ながらなんと民謡まで披露していただきました。こんなに唄えるママさんに出会ったのは初めてです。ちなみにデュエットにはほとんどお付き合いです。

宴会は二〇名位は可能で、十名以上であれば一人五、〇〇〇円よりお願いできます。

飲み放題・唄い放題、嬉しいじゃないですか。

二ツカのボトルが八、〇〇〇円だそうです。取材だけのつもりが、つい長居をしてしまったのでした。



営業時間 午後七時～午前三時  
定休日 日曜・祝日は休み  
電話 (二六三)三三八三  
住所 中区長者町六丁目二番 六階 横浜エクセレント

## 『御菓子処』菊月』

花 博一さん(二十七期卒)

金沢文庫から国道十六号線を君ヶ崎交差点で左折、旧道を三分ほど歩くと通りの上り沿いに真新しい作りのお店が目にはいります。御菓子処『菊月』です。

店主は、二十七期卒業の花博一さんです。『菊月』と聞いて懐かしく感じられる方もたくさんいらっしゃるかと思います。以前花さんのお父さんがなされていたお店です。

川崎の知り合いのお店で九年間の武者修行を終えた花さんが、昨年十二月十九日、再開されました。

『菊月』は、和菓子の専門店です。

お店には団子や大福など見慣れた商品が並んでいますが、店に並んだ御菓子はすべて自家製。売り場はお母さんとパートの方に任せ、毎朝五時から夜の八時まで、奥の工場で花さんが独りで作っているそうです。取材中も作業の手を休めることなく、粉を溶いていました。

「いつも出来立てを食べてほしいから、作



り置きはせず、少しずつ作り無くなつたらまた作るの、こうなつてしまつたんだぞつてです。

人気商品は、まめ大福 と ドラ焼き。

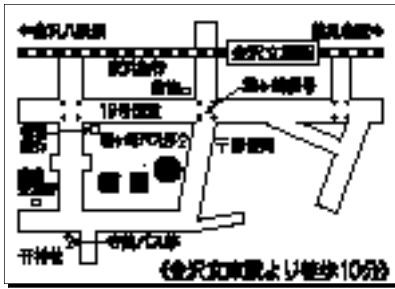
【あんこ】が売りで、あんこの材料と味には特に厳しくしているそうです。

「うちの御菓子を食べると、子供の頃に食べた味、田舎で食べた味、と懐かしがつてくれるお客様が多いんです」とのこと。私もしょうゆ団子をいただきましたが、歯ごたえがふわわりして、やさしい手作りの味という印象でした。

一個一〇〇円から一三〇円という価格も、とても良心的ですね。

お父さんがそうであつたように、花さんも、「お客様とのふれあいを大切に、地域に密着した和菓子屋を心がけていきたい」とのことでした。

OB特典は(金高卒)と言えば、その都度サービスしますので。なお、品切れでご迷惑をおかけするといけないので、お越しの際は、事前にご連絡くださいとのことでした。



営業時間 午前10時～午後6時  
 定休日 月曜日 定休  
 電話 (七〇一)九九五三  
 住所 金沢区寺前一丁目八番一号

### 平成十一年度事業計画

総会

「紫朋」発行

常任幹事会

新幹事歓迎会

鎌倉彫基礎講習会

ハイキングの会

パソコン教室

社会見学ツアー

舟釣りの会

金高祭への参加

正月リース教室

忘年会

ボーリング大会

同期会・クラス会への補助

インターネット・ホームページの開設

\* 各行事の案内、参加申込みは、各担当者までご一報ください。

鎌倉彫基礎講習会

壹谷 弘(五期)

電話(七〇一)九八五七

ハイキングの会

相川 勲(五期)

電話(七八二)三七〇三

パソコン教室

寺田 慶治(二十二期)

電話(八四〇)一一三〇

社会見学ツアー・ボーリング大会

佐藤 邦彦(十四期)

電話(七〇一)六〇三九

舟釣りの会

高梨 修(十二期)

電話(七八一)一九二四

正月リース教室・忘年会

御園 昌人(二十四期)

電話〇四六八(七五)四〇八一

### ハイキングの会

今までにハイキングに参加した人達のアンケートをもとに計画しました。ポピュラーな所で、すでに行つたことのある人も多いと思いますが、山は時季や同行者によって全く異なる趣があります。多数の方々の参加をお待ちしております。

#### 第九回 ハイキング

目的地 箱根金時山

日時 六月十二日(土)

集合場所 東海道線「大船」駅

下りホーム 七時半集合

コース 大船(七時四十三分発)

小田原 仙石—金時山

—乙女峠—仙石—小田原

費用 交通費 約四、〇〇〇円

第十回 ハイキング

目的地 高尾山—相模湖

日時 十一月十四日(日)

集合場所 横浜線「東神奈川」駅

ホーム 七時半集合

コース 東神奈川駅

(七時四十二分発)

八王子 高尾 高尾山口

—清滝 (ケーブル)

高尾山展望台—高尾山—

城山—弁天島—相模湖

八王子

費用 交通費 約三、〇〇〇円

天候による変更や中止もありますので、事前に申し込んで下さい。葉書に卒業期組・氏名・〒住所・電話番号・(本人以外の)参加者・参加するハイキング(第九回、第十回)を明記の上、左記宛お申し込み下さい。すでに参加された方は電話でも結構です。また五月三〇日の紫朋会総会でも受付いたしました。申し込まれた方にはくわしい計画書をお送りします。

(申込先) 千三三六—〇一六

横浜市金沢区谷津町二七八

相川 勲

電話(七八一)三七〇三

(幹事) 相川 勲(五期)

高橋 吉則(十期)

### 鎌倉彫基礎講習会

今年度から鎌倉彫基礎講習会を開催することになりました。デッサンや彫刻刀の砥ぎ方を含め、基礎からある程度の作品を完成させるところまでとなると、最低月二回、三年くらいは必要ということになります。

講師は壹谷さん(五期)が引受けてくれましたので、左記の要領で行ないます。長く根気よく頑張ってください。

(目的) 趣味と実益を兼ね、木の温もりを手・指で感じながら作品を仕上げる。

(対象者) 紫朋会々員又はその関係者

(日時) 原則として第二・第四の日曜日 午前九時—十二時

六月二〇日説明会

七月より実習

(場所) 金沢高校(六月二〇日は会議室)

(費用) 月三、〇〇〇円(他)

次の費用がかかります。

・用具費 一六、〇〇〇円

(彫刻刀 一三、〇〇〇円)

砥石 三、〇〇〇円)

・材料費

(一作品 二、五〇〇円)

〜二、〇〇〇円)

・漆塗り費用

(一作品 一〇、〇〇〇円)

〜三、〇〇〇円)

(申込先) 葉書又はFAXで卒業期、氏名、〒住所、電話を明記の上、紫朋会事務局又は千三三六—〇一五

横浜市金沢区金沢町一〇三

壹谷 弘

電話 (七〇二) 九八五七  
FAX (七八六) 八四二八

(申込締切) 平成十一年六月十五日  
(その他) 基礎終了(約三年) 後更に継続したい方は別に本格的に指導いたします。また漆塗り(桐)希望の方もご相談ください。

### パソコン教室

本年度は次の日程と内容でパソコン教室を開催します。紫朋会会員のみならず、PTA、学校職員の方など多くの参加をお待ち申し上げております。

- 七月十八日(日)  
11:00~16:00(昼休み含む)  
Windows95 / Internet 入門  
費用 三,〇〇〇円(テキスト代含む)
- 九月十九日(日)  
11:00~16:00(昼休み含む)  
Word・Excel 入門  
費用 五,〇〇〇円(テキスト代含む)
- 十一月二十一日(日)  
11:00~16:00(昼休み含む)  
Word・Excel 入門  
費用 五,〇〇〇円(テキスト代含む)

なお、お申し込みは必ず往復はがきで住所・氏名を明記の上、左記までお願いいたします。

〒二三四-〇〇五一  
横浜市港南区笹下三丁目二十八番八号  
寺田 慶治 宛

なお、受講証は講習日の二週間ほど前までにお送りいたします。受講料は当日お支払いください。

### インターネットのご案内

紫朋会ではインターネットにホームページを開設しております。  
アドレスは次のとおりです。

<http://www.monly.konan.yokohama.jp/shiho-kai/>

掲載されている内容は学校の近影、総会の様子、今年度の事業計画などです。紫朋会会員の方々のホームページにもリンクが張られておりますので、ぜひともご覧ください。また、インターネットを通じての「意見・要望」も承っております。



### 新幹事の紹介

今年度、四十七期生として新たに紫朋会の幹事となられた方々をご紹介します。

- |    |        |        |
|----|--------|--------|
| 1組 | 飯澤 隆信  | 冲山 沙弥佳 |
| 2組 | 小野 亜樹子 | 山崎 旭   |
| 3組 | 武原 愛奈  | 松本 伸生  |
| 4組 | 細谷 理恵  | 佐久間 友美 |
| 5組 | 堤 正明   | 大野 英里  |
| 6組 | 林 宏尚   | 西村 弥生  |
| 7組 | 大川 真弓  | 安池 清徳  |
| 8組 | 今井 福司  | 原 佳代子  |
| 9組 | 政木 昭慶  | 米持 聡   |

(敬称略)

## 金沢高校創立50周年記念事業に向けて

### …「プロジェクト2001」メンバー募集…

平成18年(2001年)、我が母校金沢高校は「創立50周年」を迎えます。半世紀の歴史を振り返り、学校を中心に関々々イベントを企画しております。

まず、過去の30周年、40周年記念事業は「式典」「祝賀会」「記念行事」及び「記念誌」「記念品」などが実施されましたが、この度の「50周年」は一つの区切りとして、様々なアイデアが寄せられております。

なかでも、学校サイドでは「60周年準備委員会」を発足し、教職員の方々の多岐面からの意見を取りまとめ頂いております。

一方、我が同窓会「紫朋会」も5年前より「60周年記念事業実行会」をスタートし、各位のご厚志に支えられ、順調に積み立ててまいりましたが、あと2年間に迫った本書にはやや影を落としている様に思えます。

紫朋会としましては、PTA・後援会・おつみ会等他団体との連携を合わせながら、学校サイドとの連携を図り、準備・企画を進めてまいります。従って、今年度(平成11年度)は「60周年実行委員会」の組織作りを着手致します。自薦・他薦問わず、会員の参加を切にお願い致します。

◎ 参加・協力頂ける方は 住所 郵便 まで (TEL:701-8039) ご連絡願うか、又は、同封の募集表にご記入の上、投函下さい。

### <組織案>



### 会員からのメッセージ

十六期同期会のお知らせ

\*一九九九年十一月十三日(土)十七時より

\*場所 新横浜プリンスホテル

\*会費 一〇、〇〇〇円

\*詳細は各クラス幹事より後日郵送  
探しています

昭和五十八年(三十一期)春卒業の  
池田 正則 君

ご両親が探しています。至急連絡をください。  
また、彼の近況(四年くらい前から)を知っ  
ている方、見かけたことがある方、聞いたこ  
とのある方、些細なことでもぜひご連絡いた  
だけますようお願いいたします。

連絡先 横浜市立金沢高等学校  
高木 俊彦(体育準備室)

電話 〇四五(七八一)五七六一  
FAX 〇四五(七八八)五一五〇

卒業生のお店紹介で、自分のよく出か  
ているお店が出ていました。金高卒業生のお  
店だと思つたんだか親近感がありますね。  
これからもいろいろな所を紹介してくださ  
い。楽しみにしています。

(三十六期 中野 めぐみさん)

いつも会報を送ってくださいありがとうございます。  
身近なところに紫朋会の先輩方  
がお店などをやっているのを知り、大変嬉し  
く思いました。(三十七期 土居 祐子さん)  
毎年、会報ご送付ありがとうございます。  
同窓生の動向や店の紹介等大変興味深く読ま  
せて頂いています。(十七期 石綿 武さん)

名簿に掲載された職業欄を頼りに、お店  
を紹介しております。紹介したいお店があり  
ましたら、自薦他薦を問わず、ご一報くださ  
い。

以前、名簿作成の確認で、職業を記した  
ら金高の名前を出して業者から広告などの問  
い合せがあり、不快感をもちました。また、消息  
不明者もだんだん増えているようだが、知ら

れたくない事情があるかもしれないし、やた  
ら知らせられないと思う。

(十期 山本 光世さん)

三十三期は九年の十一月に同期会を行い、  
その時に創った名簿には紫朋会では不明にな  
っている人の住所もきちんと出ています。他  
の期の方々もそういうことを行っているのは  
？幹事さんなどと連絡をとってみるとい  
うのはどうでしょうか。

(三十三期 池谷 淳子さん)

五〇周年時に紫朋会で会員名簿を作成し  
ます。個人の情報をどこまで掲載するか、不  
明者の調査をどのように行うかについては、  
常任幹事会でも検討事項になっています。皆  
様のご意見・ご提案をお待ちしております。

一年の担任の原先生、二、三年の担任の  
内島先生がそろって転任されるのは寂しいで  
す。二・三年のクラス会を行うことがきつ  
か九十六年の六月に内島先生に会いに行  
き、その時偶然に原先生に会うこともできま  
した。九十六年に二人に金高でお会いする  
ことができ、よかったです思っております。

(二十七期 南川 恵子さん)

遠くでもありませんが、うちを離れても

二〇年になります。五〇周年に向けて活動  
している皆様方ご苦労様です。薄先生は一年  
生の時の担任でもありいろいろな思い出があ  
ります。これからの活躍期待します。

(二十五期 井口 ますみさん)

会報楽しく読ませてもらっております。  
懐かしい先生方のお名前をみつける心はタ  
イムスリップ。卒業して来年には二〇  
年・・・時間の流れにあらためておどろくば  
かりですね。同じクラスで同じ校舎で一緒に  
過した皆さん、皆色々な人生を歩んでいるの  
でしょうね。八年ぶりに神奈川県に戻りま  
した。京浜急行に乗って金高を訪れたいなあ  
と思っております。

(二十八期 田畑 隆子さん)

今年の三月、小学校の教師生活三〇年に  
ピリオドをうちました。今まで毎日が多忙で  
懐かしく思いつつもお便りができませんでし  
た。教え子も何人かが高校に入りお世話にな  
ります。(十一期 鳥生 真澄さん)

最近、なかなか金高祭に参加できずにお  
ります。もし行かれたら・・・OBの部  
屋があるといいなあと思っております。

(三十四期 山田 和子さん)

### 98年度寄付金状況

昭和12月31日現在

年度	件数	合計金額	年度	件数	合計金額
1	5	¥27,000	25	8	¥24,000
2	12	¥63,000	26	4	¥8,000
3	11	¥45,000	27	11	¥32,000
4	8	¥37,000	28	4	¥10,000
5	20	¥100,000	29	8	¥28,000
6	8	¥36,000	30	8	¥28,000
7	7	¥19,000	31	10	¥28,000
8	12	¥31,000	32	7	¥28,000
9	11	¥47,000	33	11	¥32,000
10	13	¥84,000	34	4	¥8,000
11	11	¥33,000	35	7	¥17,000
12	15	¥41,000	36	7	¥18,000
13	14	¥31,000	37	4	¥10,000
14	15	¥46,000	38	1	¥2,000
15	12	¥27,000	39	3	¥8,000
16	7	¥13,000	40	4	¥8,000
17	7	¥24,000	41	1	¥2,000
18	5	¥24,000	42	10	¥28,000
19	5	¥9,000	43	3	¥18,000
20	4	¥13,000	44	8	¥12,000
21	5	¥14,000	45	2	¥4,000
22	5	¥26,000	46	8	¥18,000
23	3	¥8,000			
24	12	¥41,000	総計	371	¥1,188,000

お写真の制作命は

# 八景写真館

電話 045-731-8844  
〒229-0922  
横浜市金沢区町屋町10-5

## Macintosh Art Work Office

ポスター/カタログ/パンフレット/チラシ広告/印刷物全般/企画・制作



株式会社 ティ・アイ・シー

代表取締役 粘佐 芳明 (社則生)

〒144-0062 東京都大田区田畑2-7-17 Tel.03-6711-1022 Fax.03-6711-1077

### 紫朋会平成10年度決算報告

自平成10年4月1日 至平成11年3月31日

収入の部			
科 目	予 算	決 算	予算 - 決算
前年度繰越金	867,154	867,154	0
入会金	2,500,000	2,677,500	177,500
総会会費	100,000	68,000	32,000
銀行預金利子	10,000	920	9,080
寄付金	2,000,000	1,251,000	749,000
雑収入	20,000	10	19,990
収 入 合 計	5,497,154	4,864,854	632,570

支出の部			
科 目	予 算	決 算	予算 - 決算
総会費	300,000	162,711	137,289
常任幹事会費	200,000	85,181	114,819
紫朋発行費	1,400,000	1,446,912	46,912
同窓会・部活動補助費	200,000	160,000	40,000
金高祭費	200,000	182,622	17,378
事務局活動費	500,000	295,576	204,424
郵送費	1,400,000	1,074,466	325,534
50周年記念事業積立金	500,000	500,000	0
金高生奨学金	240,000	240,000	0
在校生補助費	200,000	60,000	140,000
金高図書費補助	200,000	200,000	0
卒業生記念品費	70,000	63,945	6,055
予備費	87,154	0	97,154
支 出 合 計	5,497,154	4,471,413	1,025,741

### 紫朋会平成11年度予算案

自平成11年4月1日 至平成12年3月31日

収入の部			
科 目	予 算	前年度予算	今年 - 前年
前年度繰越金	393,171	867,154	473,983
入会金	2,500,000	2,500,000	0
総会会費	100,000	100,000	0
銀行預金利子	1,000	10,000	9,000
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
雑収入	80,000	20,000	60,000
収 入 合 計	5,074,171	5,497,154	422,983

支出の部			
科 目	予 算	前年度予算	今年 - 前年
総会費	200,000	300,000	100,000
常任幹事会費	100,000	200,000	100,000
紫朋発行費	1,400,000	1,400,000	0
同窓会・部活動補助費	200,000	200,000	0
金高祭費	200,000	200,000	0
事務局活動費	400,000	500,000	100,000
郵送費	1,200,000	1,400,000	200,000
50周年記念事業積立金	500,000	500,000	0
金高生奨学金	240,000	240,000	0
在校生補助費	200,000	200,000	0
金高図書費補助	200,000	200,000	0
卒業生記念品費	70,000	70,000	0
予備費	164,171	87,154	77,017
支 出 合 計	5,074,171	5,497,154	422,983

50周年記念事業積立金	6,000,000
-------------	-----------

#### 口座残高内訳 ( )

東京三菱	153,956
横 浜	239,215
その他現金	0
残高合計	393,171

他に、50周年記念事業積立金として郵便局定額預金 [5,500,000]

## 編集後記

この「紫朋」四十四号より、紙面十一ページの「読者の声」を改め「会員からのメッセージ」のコーナーにリニューアルしました。皆さまからの「紫朋会」へのご意見・ご要望・ご感想のほか、同期会・クラス会の告知、尋ね人、訃報など掲載したい内容がありましたら、事務局もしくは金沢高校体育科高木先生にご連絡ください。ただし、年一回四月の発行です。掲載に際しましては、常任幹事会で内容を検討する場合もあります。ご了承ください。

昨年「紫朋」四十三号から、「卒業生のお店紹介」を有料化、さらに紙面広告を募集しました。会員名簿の職業欄からピックアップした一覧をもとに、ランダムに連絡しておりますが、大半の方が気持ちよく了解くださいます。今年も紹介記事四件、広告八件いただくことができました。この場を借りまして御礼申し上げます。次号以降も募集いたします。「卒業生のお店紹介」に紹介して欲しいお店(自他問いません)、また広告を掲載されたい方、ご一報ください。

担当 渉外兼副会長 御園昌人  
電話 〇九〇(四五四八)七〇三九

「会員便り」にも、若手の活躍が掲載されるようになりまして。五〇周年を迎えるにふさわしいことだと思います。しかし、まだ情報が不足しています。この人を「会員便り」に載せてはどうかという方がいらつしやいました是非ご紹介ください。みんなで紫朋会を盛り上げていきましょう。

前回四十三号では、「訂正表」作成という「紫朋」発行以来初の汚点を残すこととなりました。今後、このような事が一切発生しないように、今回はその第一歩として、気合いをこめたつもりです。ただ、意見としてその原因に「紫朋」のマンネリ化を挙げる声もあり、真摯に受けとめたいと考えております。そこで『我こそは編集委員に立候補せん!』という方いらっしゃいませんか。【読む人】から【創る人】へ。皆さまのご参加お待ちしております。

「紫朋」編集委員会一同

